



芸術の秋 モネの「色」にせまる

秋と言えば、芸術の秋です。本号では後期印象派の巨匠クロード・モネの「色」の世界にせまります。しかし「色」といってもCUDOで扱うのは作品の芸術性ではありません。モネ自身の色の感じ方や目の疾患について慈恵医大病院の眼科診療医長であり同大学の眼科学講座を持つ林孝明(当機構理事)からレポートさせていただきます。



59歳のモネの作品 1899年
輪郭が鮮明に描かれている。

眼科医が診療する病気は多岐にわたります。その中で、白内障や緑内障については、聞いたことがあると思います。色感覚と眼の病気を考えた時、色感覚を規定する細胞(錐体)は網膜にあるので、網膜の病気を患えば色感覚は阻害されるのは理解できます。しかし、たとえ網膜が正常であっても、網膜に到達する色(正確には可視光)の一部が、遮られれば色感覚は阻害されます。その代表例が白内障(水晶体が濁る病気)です。印象派を代表するフランスの画家クロード・モネは日本庭園が好きだったようで、Waterlil-

モネの描いた「睡蓮と和橋」

Waterlilies and Japanese Bridge



78-82歳のモネの作品 1918-22年
両眼ともに重度の白内障に罹患。和橋の輪郭がおぼろげに描かれ、周りの色と浸食し合っている。

lies and Japanese Bridge (睡蓮と和橋)をよく描いていました。59歳時に描かれたものでは、緑色の色彩にあふれ、橋の輪郭もよく描かれています。一方、両眼とも重度の白内障を患った78-82歳時に描かれたものでは、全体的に暖色系の色が使われ、橋の輪郭も不鮮明に見えます。これは、視力障害だけでなく、短波長光(およそ500nm以下)が水晶体の濁りに吸収され、中・長波長光の網膜に到達する割合が増えたためによるものと推察されます。

林 孝彰(当機構理事)

認証取得

最近CUDマークを取得した事例をご紹介します(順不同)

株式会社NTTデータ

“NTTデータグループCSR報告書2012”

CSR(企業の社会的責任)に関わる情報開示の一環およびステークホルダーとのコミュニケーションツールの一つとして毎年発行しているレポート。(印刷物)

<http://www.nttdata.com/jp/ja/corporate/csr/report/index.html>

ライフ株式会社

“ライフ2013年 DIARY & SCHEDULE”

オフィスでのスケジュール管理に最適な卓上カレンダー。シンプルで美しく、誰にでも分かりやすい配色になっている。(印刷物)

<http://life-st.jp/conts/>

株式会社日立製作所

“日立グループサステナビリティレポート2012ダイジェスト”

日立グループサステナビリティレポートは、CSR報告書と環境報告書を一冊にし、非財務情報を経営とのかかわりを中心に情報開示したもので、本レポートはそのダイジェスト版。(印刷物)

<http://www.hitachi.co.jp/csr/>

三菱電機株式会社

“ルームエアコン「ハイブリッド霧ヶ峰」
ZW/ZXV/HXVシリーズ 2013年度モデル”

部屋から人がいなくなった時を見逃さず、すぐにムダな電気をカットする「スマートSTOPシステム」を搭載したエアコン。(機器類)

<http://www.mitsubishielectric.co.jp/>

能美防災株式会社

“火災受信機FAPJ/FCSJ105シリーズ(進P III/一般型)”

建物などを火災監視し、発生場所・状況の表示やベル鳴動するもので、表示・操作を「見やすく、分かりやすく、使いやすく」した装置。建物内の防災センターなどに設置する。(機器類)

<http://www.nohmi.co.jp/>

ユニバーサルキャンプ参加のご報告

9月15～17日の2泊3日でおこなわれたユニバーサルキャンプin八丈島にCUDO事務局から2名が参加しました。

このイベントは、視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由など色々な立場の人が集い、それぞれの違いを“多様性 = ダイバーシティ”として

とらえ、お互いを知る

ことをテーマとして開

かれており、今年で8

回目となります。複数

回参加していても“内部障がい(心臓、肝臓や呼吸機能など体の内部の障がい)”とは具体的にどんな事かあらためて知ることができ、当事者が自分の生の声で発信するリアルさ、迫力のようなものを感じることができるのが、このキャンプの意義深いところです。事務局から参加の2名も色弱者本人という立場でプレゼンする機会をもらい、色覚の多様性、カラーユニバーサルデザインについての啓発の一端を担うことができました。

八丈島はまさに南国特有の天気、晴れと雨とが1日のあいだに何度も繰り返され、9月半ばながら真っ黒に日焼けしてしまいました
(事務局)

お知らせ

国際ユニバーサルデザイン会議参加のご報告

2012年10月12～14日に福岡市の福岡国際センター、福岡国際会議場にて開催された「第4回国際ユニバーサルデザイン会議 2012 in 福岡」に参加いたしました。第4回目のテーマは「安心・安全」。本年も様々な企業が出展し、九州というアジア諸国の近い、活気あるこの地でUDをプレゼンテーションしていました。当機構の大きな収穫として、各企業の展示ブースにお

いて、沢山のCUDマークを発見できたことです。UDの祭典

でも「色」のUDが実際に普及

してきたことを確認できました。

当機構のブースには地元業界

団体、教員、社会見学の小学生など沢山の訪問があり、CUDのお話をする機会に恵まれました。また、会場にてCUD

のワークショップを行い、来場者やブース出展企業の方々からCUDの問題提起や改善提案が話されました。今回もとても実りのあるワークショップとなりました。(事務局)

SEASON IN THE CUDO No.9 秋号 2012年10月24日発行

発行元:NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-5 昌平橋ビル3階

TEL/FAX: 03-6206-0678

発行人:武者廣平